

時間割コード	G1D13402	開講年度	2026				
授業題目	ドイツ語初級（文法）Ⅱ				担当教員	磯部 美穂	
英文授業名	German: Elementary Level (Grammar) Ⅱ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・3時限	対象学生	L I
講義室	共通教育 6 5 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	ドイツ語の基本的な語彙を使い、自分の伝えたいことが表現できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	授業は、文法事項を解説した後、独作文を中心とした練習問題によって理解を深めていきます。授業後に自己採点をおこない、理解できたことと理解できていないことを確認してもらいます。次の授業時間に、理解できていないことを中心に質疑応答の時間を設け、クラス全体で復習をします。また適宜、課題や小テストによって習熟度を確認し、期末試験で最終的な理解度の確認をおこないます。						
(5)授業のキーワード	ドイツ語、文法						
(6)授業計画	以下の予定で、授業を進めますが、受講者の習熟度により進度が変更されることがあります。 第1回 前期で学習した内容を思い出す 第2回 過去の事柄を表現する 第3回 現在完了の表現を作る 第4回 zu不定詞句を使った文を作る 第5回 接続詞の種類について理解する 第6回 主文と副文からなる文を作る 第7回 再帰代名詞について理解する 第8回 形容詞の用法について理解する／中間課題 第9回 形容詞の格変化について理解する／授業アンケートを実施する 第10回 比較表現を作る 第11回 最上級を使った表現を作る 第12回 テキストを読みながらドイツ語の文法を理解する（関係代名詞など） 第13回 テキストを読みながらドイツ語の文法を理解する（接続法など） 第14回 テキストを読みながらドイツ語の文法を理解する（受動構文など） 第15回 これまでの学習内容を振り返る／授業アンケートを実施する 第16回 期末試験 ＊教員の体調や気象状況によって、授業の形態や計画が変更になることがあります。必ず、eAlpsコース内に掲載されるアナウンスメントや授業計画を確認するようにしてください。						
(7)成績評価の方法	成績は、中間課題（50点）と筆記試験（50点）の合計点と復習プリントの得点率を点数化し、70%と30%の割合で合計点数を算出します。合計点が60点に達すれば、水準にあると評価します。中間課題と筆記試験で合計60点以上得点すれば、初級文法習得レベルにあると判断します。復習プリントは毎回提出することを前提とし、その上で平均点が6点（/10点）以上であれば、水準にあると評価します。						
(8)成績評価の基準	期末試験の評価基準： 学習した単語を使って基本的なドイツ語の文を作ることができれば水準にある。 学習した単語を使っていろいろなドイツ語の文を作ることができればやや上にある。 作文の際に、学習した語尾変化などがすべて正しくできるようになっていればかなり上にある。 メールや手紙などをドイツ語で書くことができれば卓越している。 復習プリントの評価基準： 復習プリントを自己採点し、理解できていない内容や問題を自分のことばで説明することができれば、水準にある。						
(9)事前事後学習の内容	授業で扱われた文法事項について教科書を読み入念に復習すること。 教科書の「単語を復習しよう」の項目の音声聞き、単語の復習をすること。 eAlps内に掲示する復習プリントを使って、理解できたこと・できていないことを整理すること。 eAlps内の「復習テスト」を受験して、自身の理解度を確認すること。 eAlps内に掲示する授業用スライドを参照し、次の授業に備えること。 授業中に課された宿題は、授業当日におこない理解を深めること。 ＊この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、15時間以上の時間外学習が必要となります。 学習した項目を読み返し、理解できていないことを質問できるように自分のことばでメモしておくこと。						
(10)履修上の注意	(1) 授業の前後に必ずeAlps内のコース画面を確認し、必要な資料は印刷の上持参すること。 ＊この授業では、電子機器を使用することはありません。PCは電源を切り、携帯と共に机上に置かない						

(10)履修上の注意	ようにしてください。 (2) 授業中に出される指示を正確に理解し、作業をおこなうこと。指示が理解できなかった場合は、手を挙げて質問すること。 (3) 課題は期日を守り提出すること。 (4) 必要に応じて、辞書を持参すること。辞書については、初回授業時に説明します。 (5) チャイムが鳴り終える前に入室しておくこと。周囲に影響を与える遅刻や居眠りは慎むようにしてください。場合によっては退室をお願いすることがあります。
(11)質問,相談への対応	メールにて受け付けます。アドレス：isobe@shinshu-u.ac.jp
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（不可）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	磯部美穂『快速マスタードイツ語』語研、2020年、2640円（税込み） （前期授業「ドイツ語初級（文法）I」に続いて、同じ教科書を使用します）
【参考書】	指示しない。